

会議記録（要旨）

会議名	平成27年度 第2回子ども読書活動推進懇談会	
日時	平成27年10月27日（火） 午後6時～8時	
場所	中央図書館 児童資料室	
出席者	委員	岩崎委員、津田委員、滝田委員、沼田委員、増田委員、楠本委員、石川委員
	事務局	吉川中央図書館次長、企画運営係（井口係長、松澤）、事業係（奈良係長、杉本）
配付資料	第2回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第 資料1 27年度第1、2四半期子ども読書活動進捗管理票 資料2 子ども読書活動実施報告書 その他 委員持ち寄り資料	
<p>1 開会 中央図書館次長挨拶</p> <p>2 平成27年度第1、2四半期の報告</p> <p>事務局 学校関係では、懇談会でも話題にのぼった家読（うちどく）、また、読書バイキング、リーディングバディ（小六が小一に読み聞かせ）など新しい事業が出てきた。読書バイキングとは、読み聞かせをする題名だけを子どもたちに知らせて、聞きたい本が決まったら決められた教室に行く。誰が読み聞かせしてくれるかは分からない。普段は接する機会が少ない他の学年の先生の読み聞かせを聞くことができる事業。学校図書館活用研究指定校事業による蔵書の充実で西田小・高井戸東小・中瀬中が指定されている。図書購入費の予算がついている。来年度は指定校の数を増やし、蔵書の充実を図っていく。学校図書館相互貸借システムの構築については、本格実施に移行し、主に同じ本を児童・生徒数分そろえる場合に利用されている。</p> <p>本を利用した体験事業の実施の中でも、永福図書館の「ランドセルは海を越えて」は、対象別に小学1～3年生、小学4～6年生、中学生～一般の3回講演を行った。今川図書館の「ものがたりの主人公になっちゃおう」は、展示された本とともに主人公の衣装（図書館員手作り）が置いてあり、衣装を着て写真が撮れるというイベント。例えば、魔法の宅急便のキキの黒いドレス、ほうきにラジオまできちんとつくられていた。Y Aルームの開設では、夏休みの期間限定の学習室は多くの館が実施しているが、今回常設での設置の報告があがってきた。</p> <p>永福図書館で活動していただいているボランティアグループを児童館に紹介した。中央図書館にて都立西校、女子美術大学附属中高に調べ学習支援を行った。最後に資料2実施報告書について説明をさせていただくと、実施報告書にあつ</p>		

て、資料1進捗管理票に無い事業がある。これは全ての事業を進捗管理票に掲載すると、とても見づらい資料になってしまうので、定番行事については、進捗管理票では省略している。実施報告書は参加者の様子がよく分かるので、あえて全部掲載をしている。また、実施報告書の提出は必須としていないので、事業をやっている、掲載が無い館があることはご了承いただきたい。

委員 夏休みの催し物一覧を送ってもらって見に行きたかったが、参加対象が子どもなので、行きづらい。参加者として、見学者として受け入れてもらえるものなのか。

事務局 委員が来館した時には、対応して欲しいと各館に情報を流すことはできる。

委員 おすすめの事業があったら、ぜひ現場に行く機会を作って欲しい。

### 3 平成29年度までの大きな動きについて

事務局 平成29年度から中央図書館の改修設計に入り、30年度から改修工事に入る予定。ただし、現段階では未定の部分が多い。もう少し内容が固まった段階で、委員の皆様にご意見をいただきたいと考えている。

委員 空白（閉館）の期間は出来るのか。

事務局 改修工事期間中、全面的に閉鎖するのか、図書サービスコーナーのような形で開館するのも検討中である。

委員 住民を交えたワークショップは時間がかかる。今回は教育委員会が青写真を作るのか。

事務局 躯体までの工事はしない。配管等の老朽化に対応して工事をするが、その中でレイアウト等についても考えている。

委員 新築ではないので、改修という条件の中で出来ることは限りがあるが、青写真が出てきたら委員の皆さんから意見をいただくということによろしいか。

委員 改修は希望が持てる。使いやすい図書館にして欲しい。

委員 配架については、出来上がってから考えるのではなく、工事前にきちんと検討して欲しい。

事務局 手に取りやすい開架を考えていきたい。

### 4 子ども読書活動推進計画について

事務局 現計画は平成25年度からのもので、3年目は見直しの年にあたる。現段階の進捗状況を報告させていただく。

（平成25年度から平成27年度上半期までの活動について報告）

委員 平成29年度目標値について、未読者の割合で小学校4.9%、中学校8.2%は、全国的にみてかなり低い。0%はとても高いハードルではないか。学校図書館の一人当たり年間貸出冊数は、小学校では既に達成されているので、もう少し増える余地があるかもしれないが、中学校の12冊は中学生になると忙しくなるので、やや多いのではないか。乳幼児と保護者を対象とする事業への参加者数、

子どもを対象とする事業への参加者数は、目標を達成したので数値を上方修正してもいいと思った。

委員 学校司書はとても頑張っている。杉並区は全校配置された学校司書の努力で目標値0%は達成されるのではないかと思う。中学校の貸出冊数が低いのが、学校司書の目標値になるのではないか。

おはなし会の参加者は乳児がとても多い。多いのだが、1歳半になると消える。あかちゃんのうちはおひざの上で聞いてくれるが、歩き回るようになると、来なくなってしまう。ただし、読み聞かせを続けていくと2歳児でも落ち着いて聞けるようになる。読み聞かせに慣れている子たちの中に慣れていない、歩き回る子が入ると、その子のお母さんはその差がつかく「うちの子だめだわ。」とつかく感じてしまうようだ。子どもに対することは積み重ねがとても大事。3年かけて聞けるようになる。それが目標ではないか。この13,000人（乳幼児と保護者を対象とする事業への参加者数）という数字がこのままいくかは怪しい。つなぎ止めて行くことが重要。イベントは楽しいけれども、地道な活動、図書館でのおはなし会や学校での学校司書の活動などが大切である。

委員 日常的な読み聞かせの活動が大事だというお話だったが、そのあたりの方向性はどうか。

事務局 中央図書館では、毎週水曜、日曜におはなし会を行っている。あかちゃんおはなし会の回数についてさらに検討を進めている。

事務局 通常のおはなし会は、当たり前に行う業務なので、子ども読書活動推進計画の中で取り扱っていない。図書館の統計では扱っているが、子ども読書活動推進計画の中では、特にあかちゃんおはなし会だけを取り上げている。決して、通常のおはなし会をやっていない訳ではない。

委員 今は懇談会の委員なので、活動報告を詳しく聞かせてもらっている。しかし、ホームページを見なければ、知ることがない。できれば紙ベースで欲しい。広報すぎなみに図書館だよりのようなものは載せられないか。

事務局 限られた広報活動の中ではなかなか難しい。今年は夏休み前に特集記事を掲載した。子ども読書活動推進に限らず、広報課長に働きかけてみたい。

委員 地域館に行こうとして、分かりにくく行けなかった。現地で分かりやすい表示が欲しい。

委員 各館ごとに案内地図もあるが、大雑把である。

委員 図書館は社会教育施設の中でも区民の利用度が高い。簡単に行けるような仕組みづくりや街中に表示をつくるのは難しいかもしれないが、懇談会からの要望ということで交渉して欲しい。

事務局 ご意見として承る。

事務局 報告させていただいたとおり、子ども読書活動推進計画を推進している。学校図書館法が改正され、学校司書が法制化されたが、杉並区ではそれ以前に学校司書

を全校配置している。着実に計画を進めるため、これまでの計画について評価し、目標値の修正等の見直しを進めていきたいがよろしいか。

委員 目標値の妥当性について意見があった。未読者0%は達成されそうだという話だったが、中々高い目標である。その点についてはどう考えているか。

事務局 未読者については、朝読をやっているのだから、読んでない訳ではないのだが、引き続き、本に親しむ環境づくりを進めていきたいと考えている。

乳幼児の参加者数については、事業をしっかりとやって、あかちゃんと保護者が気兼ねなく来てもらえるようにしたい。

委員 乳幼児については厳密に数字を追いかけずにいって欲しい。

委員 子ども読書活動推進計画については、大本了承ということでよろしいか。

委員 了承。

## 5 その他

委員 委員が持ち寄った資料で話を。

委員 新聞記事

絵本専門士、マイクロライブラリー、本の学校、作家滞在制度

委員 電子書籍について

取組みは10年以上前からあるが、普及は1%未満。

委員 学校図書館について

児童数が増えれば、学校図書館図書標準数も増える。既存の学校図書館は面積が限られているので、本を増やしたくとも置く場所が無い。

毎週朝読、授業でも読書の時間を取っているが、なぜか読んでいないに丸をする。

低学年の方が、読む時間も取れるし、絵本など数が読める。高学年になると、習い事や塾などで時間がなくなるし、授業数の確保も難しくなる。

委員 視察報告

千葉県袖ヶ浦市、長野県茅野市、北海道恵庭市、高知県土佐町

委員 どこか他の図書館に行かれたら、今後の杉並区の図書館のために情報提供をお願いしたい。